年底抄

イ4
2478
206

一出一入有知有矩

右茶先箇銘

或字を鄙ふして　泉為村

行き心行ふし行きたる行きたるや　作る文字八阿

歳暮残暑　仝

年の暮り　高砂乃松の独

とくと　煙とり　人の行ふ

富士山の眺望　青人の

見ゆ　行ゆくとく　墳検挟

世の事乃　人の思ふ

ふとしきけハ　浦ふの

14 2488 206

寄大無子恋　署人

もゝさみれ書あ[illegible]
[illegible]

寄傳者恋　仝

[illegible]

寄乳子恋　仝

[illegible]

寄傳者娘　仝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蟹の画の賛　千里　置山人

[illegible]の蟹の[illegible]　接月

梅渓の一枝をかき[illegible]の芸

[illegible]谷とかき[illegible]

[illegible]の梅の一枝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]年九月[illegible]

久[illegible]詞[illegible]世無[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓮の[illegible]布を[illegible]

[illegible]と合[illegible]八[illegible]年

[illegible]

医師表白用[illegible]年[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

中村知雨方雅招
幸に逐下界魚信鬼
試呼義を酌元猫
但抑一度其莫[illegible]
陳[illegible]押合四隅猫
寄東都人気
人気[illegible]傷
湖[illegible]土地の[illegible]
海鱠
大[illegible]
[illegible]候不[illegible]

[illegible]の方[illegible]
[illegible]用
伊勢両宮[illegible]賣上人
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の[illegible]を加へ藏人を
始まと信じ上根を加へ人
武士に忠義我神を知る人
嫁妻に人を辛保を
加へて[illegible]

可一段行
堅固之儒者ヲ戴儒連行ふ
彼日熟ことして居る故儒人
如何ヤト云しか儒者ノ云我
能ク養ニ醒醐之氣ヲト云儒人
衆不知其意ノ云ハ行事ヤト云
中儒者ノ云ク曰ク難謂ト云

肖明

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

大原院

[illegible]

一唐帋

上諸藩例　十帙　三百卷

[illegible]

文政十年於南京宣信[illegible]

陳中宣信

大体[illegible]

[illegible]

[illegible]

日吉船[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時、鄉中、都鄙、[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元日信柿本影前言志

正二位實蔭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

草茅危言
寛政元年閏二月
小山右士中井積善撰
右全五冊

有喜世語草　十返舎一九戯編
全部　二冊　文政十戌子春発兌
表紙　藝女三絃持図　全冊　一冊

頓死咒
南天葉五枚　小豆　三粒
生姜　一片
右白布ニ包ミ何ニ成ト中ニ指

黄入紙ニ書テ常ニ持テ居リ

續後撰集春中　俊成卿詞
[illegible]
千載集春上　源仲正歌
春霞[illegible]
[illegible]
右毎春ニ山芹ヲ[illegible]
文政二己卯歳大小　毎篇小
九冊　大破　當安静
價高鶏蛸

詠祝言和歌　四二位實隆

[illegible]
ひ[illegible]
春日同詠竹裏聴鶯和歌

左近衛権中将藤原實積

君きけ[illegible]
[illegible]
菫　撫菜

花よりすめる山[illegible]
[illegible]

近衛信尹

[illegible]
[illegible]

戒專法師[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

市川團子亭京師へ来りしを高屋の[illegible]の[illegible]雪[illegible]

白猿ハ見さる中ハ金でも
銀でもつくるなり

同年正月　白猿

つゞらもなん新玉のとし
さきをかしてゆく　呼子鳥

おのゝ年ハ女の角ハ
とんのこけ　ハ女の舞ハ
さきをかしてゆく　呼子鳥
ハ
ハ
ハ

藤蔭摘藻　駿河家御物

調度　雑事抄之中備用

可参事

[illegible]　全一冊

[illegible]

托鉢之図

[illegible]

[illegible]

文政十三年　仙洞庁舎始参賀

御製

梅柳色香不[illegible]

[illegible]

洞[illegible]

[illegible]

庭面一位入道祐真

[illegible]

[illegible]

[illegible]

祝詞考　三冊

歴朝詔詞解　六冊

右　本居宣長撰

○神道答問　可求事

藤井本

學服譜　帷袴帖緑障子緑葉部

右都る可写取

戒尊詠

[illegible]

[illegible]

[illegible]

竹ヲ生ル時ノヤシナイニ
事ハ撥トシテ薬ヲ水中ニ
入生ル時ハ青竹ヲ
カシヅトシテ

旅枕之傳

我ヲ枕ニ弥ノ立源ヲ
行ク如ク敵ヲ仰ク
ヲ

たちかえ通唱ク
光光付之光
の文字を指先ニ書

摩利支天尊
ヲンマリシエイソワカ　右三遍
唱ク

寢ル時ハ其間ニ生有ル
ノ人来時ハ仏子目覚ル
ル習朝ハ左ニ家摩利支
天尊　真言ヲ右三遍ヲ
起而後唱ク　かつすべし

已惶

及名嶌田忠臣ヲ達音紀長谷雄ヲ
菱昭葛野ヲ賀能匡房ヲ萬歳
明衡ヲ安蘭通憲ヲ民輪上
下ノカナヲ取テ呼也

已上字類抄波部

備式大嘗會条云

阿波國麻布一端木綿六斤年貢十五年乾羊蹄

蒜英根各清十五年乾羊蹄

蹲鴟各十五籠已上忌部所作 鰒蝑五編鰒

鮭十五坪 細螺 棘甲 鹿 石華等

並廿坪 已上那賀郡潛女十人所作

宣詞訓

勅 勤之 賜之 夜等 状 隨本

勅 勤之 日夜 感 赤丹乃穂本

御意 愛之

食 惠良岐 其官任賜 宮人

次之 退罷 已惶 御物賜之止

豐樂聞食日在御

踏歌見御酒食所

源氏物語の奏 楊名のすけ 代事

ものいとうとくなりぬ名はうとく

なりぬ 法師のすがたにふ

ともも吏部は行すたくすけと

いとまなくはうらふさしたる

ものもいのすけといふ名

楊名の関白なりしもいとうとくれ

名はうとくなれる事

今の世に周白とる場名といふ
屋まうもや

紀無之 懐

吉屋すきの遠山乃秋の景色
ひのうの庵も出るのうらまし

さや堂の懐　仝

さや堂のさゝやかに立風に
毛屋月の目印見えて秋の

梅西情　仝

はつ形て来ても見ぬ人
心の底乃思ひもたつる也

月夜独和風　京桜

屋敷たたく秋風
をうら〳〵散てさびしさ

周屋

志つけさびしかるすゝの秋
市にて人に向ふ

黄中

秋のつかゝ芋の数柳乃うたゝね
吹やとうしこれめ事風

故則西相屋追慕

秋懐舊　祐為

垂乃言も化ぬ世の月の秋
おもうけ志乃ふこしらの秋

三千年あまり三年あまり
秋の夜物
秋をこそうらやまれけれ
老のひとりぬる
春の夜の夢のうちもなほ老の
なるしるしとて秋の人なる
長明霊前

鞠菊常霜

いくしもの色とそめぬてのこる名の
白いもあるかの重陽の菊
うつしたるもの笹の菊ふ初霜
うつるあるの色をそめ鞠

笹鞠菊

重陽の色の笹に秋の色鞠
鞠ーて白ふ菊ハ世ふ

庭の面乃笹の色ハ秋のやふ
しらしらと白ふ菊の一ぢ

海老月

更ぬるうとそのの新もあらんて
涼ふ秋ふ月ハ
笹ふ色ふ風さそ庵ふ
うたふ月の
かうるる

梅菊春

巻向のあるのひとふ春あう
春ふ人ふ新色うれとけ
秋風山ふ乃紅ふ
春ふ
海老色花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

被懐遠如夫予執筆
此頃内宮八十末社を奏上の
よしを聞て手くだの人をつかはし
述るところの人々幣帛の数のこと
幕府内務の役人に問答再興の事
言て問答再興の事
所司代所宮進作下され
所司代内宮官八十末社の
事をやとし一ゆたりとうとう
内宮末社中絶の社を再興
とうとうもたらす宮人の
御をむさぼるんうちうあり
孫あるべし社をとし
なり拝かみたりくもかしこ

神鏡をけがし海賊なんを
ひねすと取社をもつて海賊
以文書の附も年年年
なり廟宮内
遷宮上人なるふ尼寺五宗
行事なるし
ゆ宮人なる侍る
伊勢人の私のをし
神もるみる焼むる
政始なるる所代なる神廟の
内も祝を所代なる
神風の所も切さ
ゆまの宮のさ宮人のの

[illegible]の社[illegible]小[illegible]の所
山[illegible]ありて小金を[illegible]
小中[illegible]氏の社[illegible]
のすぢ石の社なり 以文訓
社[illegible]
渡を[illegible]
改[illegible]
むかし[illegible]

今年[illegible]
[illegible]
人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

さきも折うけて神の祭祖の玉垣

花有歓色

元亨二年　雅之卿

春ふかみ山末の長く歌来の
あけくれとあはすの草の色の色

冠下絵　小元諸指所

雨後上巳行之
卯月　又愛宅
○中長之行卯月

柳宗富之

夕立

男立代為八ケ月草を求も

酒をそそぐ雨日代為りて作き

大弁北師定教

伊勢海老を作きて　祭

伊勢の海浦きめくるの神のや
さそそ〜ぶるとそうち打はまそゆけ

松子

世を後の世とも世をもそ
時うけ年をいそくかに

貝原篤信先生辞世

翁うそ〜ぶいそ夜半の紅葉
八十余の年の月日かき

吹無常風の辞世

高砂のなをうものなれかの世を
ちかくうらもとそ〜ちのいめ

車坂

上賀茂川ニ流テ六町ヲ上
久保ケ畑ノ古道三十ケ年
已前迄ハアリ[illegible]峠峨
二ツ二ノ坂道ヲ替シヨシ古
老ノ物語也

小倉氏記 三十一歳ニ附

秋もはや雲ゐにこゆるかりがねの
いとゞあはれを山の端の月

大石内蔵助良雄
及ひなき雲のうへまでかりがねの
風にうたるゝ秋の夕べ

文政十三年後三月下旬依幕府命
京師諸寺ニ僧徒淫逸之輩悉
召捕依罪軽重或於三条橋邊磔
来之衆目其身之恥辱作曝矣
就中雖為軽罪於寺之住僧者
為遠嶋是亦依罪之軽重有
遠近之差異乎嗚呼復古之
法制厳密ニ法度可然哉
抑丹頃日山田以文先生以和
歌亦言罪于九
[illegible]
[illegible]

法制厳密なるゝ中ごろ
そ制ゆゑ今の世
ふるき寺院の僧侶を追放
住せて法輪放棄
幕府の法制厳重なるゝて
教徒の出家皆禁獄せられ
しも多く　事ある神の
めつそふ仏の教也
法師の事行ひもなふ
そ仏なるきももりて
なつ法そなのめつそふ法の師の
道士そしは生ける
いきるのうち法ちれ人危ふるれて
うなふ世ふはちとのこと法の師

なのの事の出ふ祈すかの神川の
きし代の祭ふ
嶋流法師ふ鎮とて
今日ふ仏ふ
なのの日うめと者と
ふ

世上流布の狂歌
大師の御の朝の夢似て
時を加へ今の怪物
大師の御夢朝と
時とるまくたるまん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元祖上人無量の蓮を[illegible]
[illegible]書曰ひめ乃[illegible]
[illegible]人の[illegible]
八面方十万億[illegible]
[illegible]不遠[illegible]
[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]

蓮生[illegible]

[illegible]上

○井戸寸法

一壹井戸寸法　口廣　四寸九分
　　底深　二寸七分

一五合寸法　口廣　三寸九分六厘
　　底深　二寸六厘七毛

一壹合寸法　口廣　二寸壹分
　　底深　壹寸四分五厘

右何レモ内法寸法や

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大佛妙門主
十無量院宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たうとくて神つて世へて
ゆらぐことなきは天の御
文政十二年七月二日　京師大地震
地震
中々に動くことなき天の代の
時のよりに　さしたる被害
は
無きもいと尊くこそ
ありけれ　ふるき世の
有ひとの
慕ひ奉る
いもとの
杖とハたゞ
地震の時の婦人
地震の時の婦人
地震の時の無事を
地震よりもつよく
うらみあるの時
地震
地震
地震

[illegible]

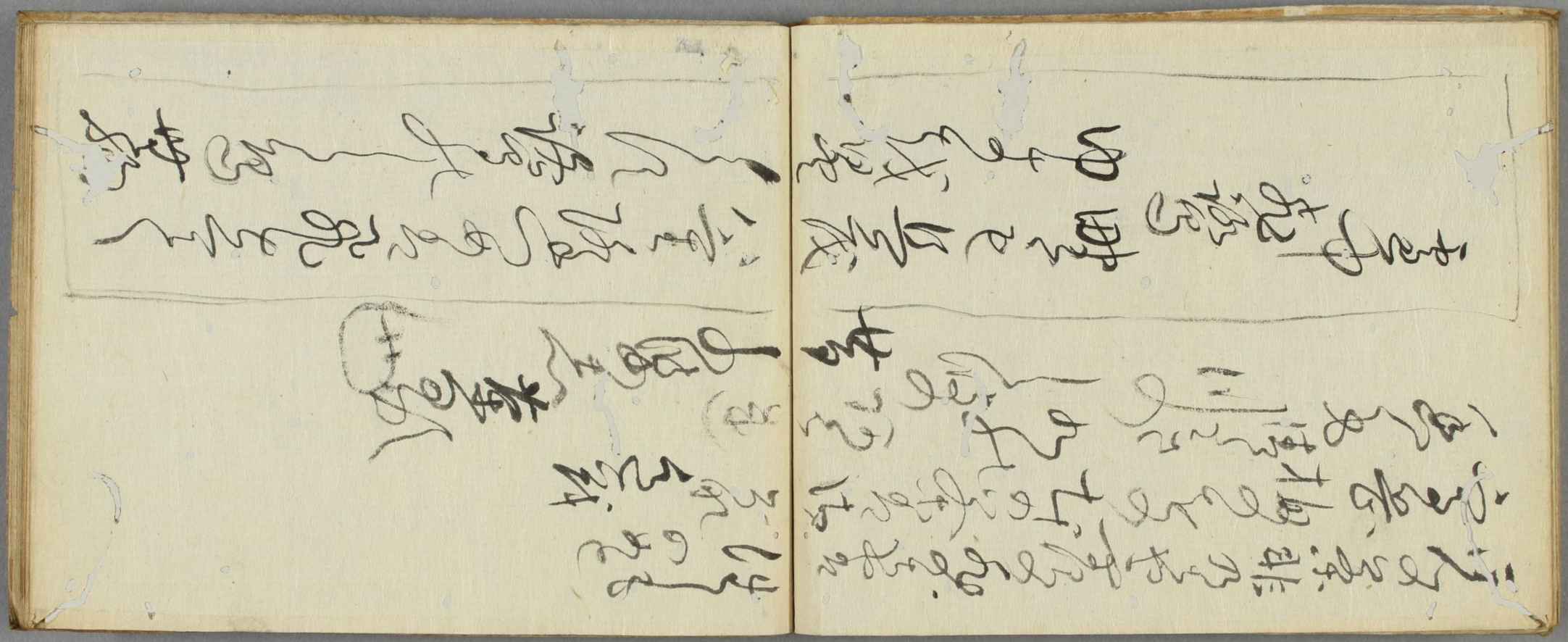
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



中納言

[illegible]

野寺の[illegible]

中世宣[illegible]

冬序 [illegible] 雪乃歌の月 愿

清源乃[illegible]

[illegible]

橋雲 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

海眺望　[illegible]

花重　[illegible]

暁鶯　[illegible]

池上蘇　[illegible]

田家　小山尚[illegible]

鶯　[illegible]

夏月

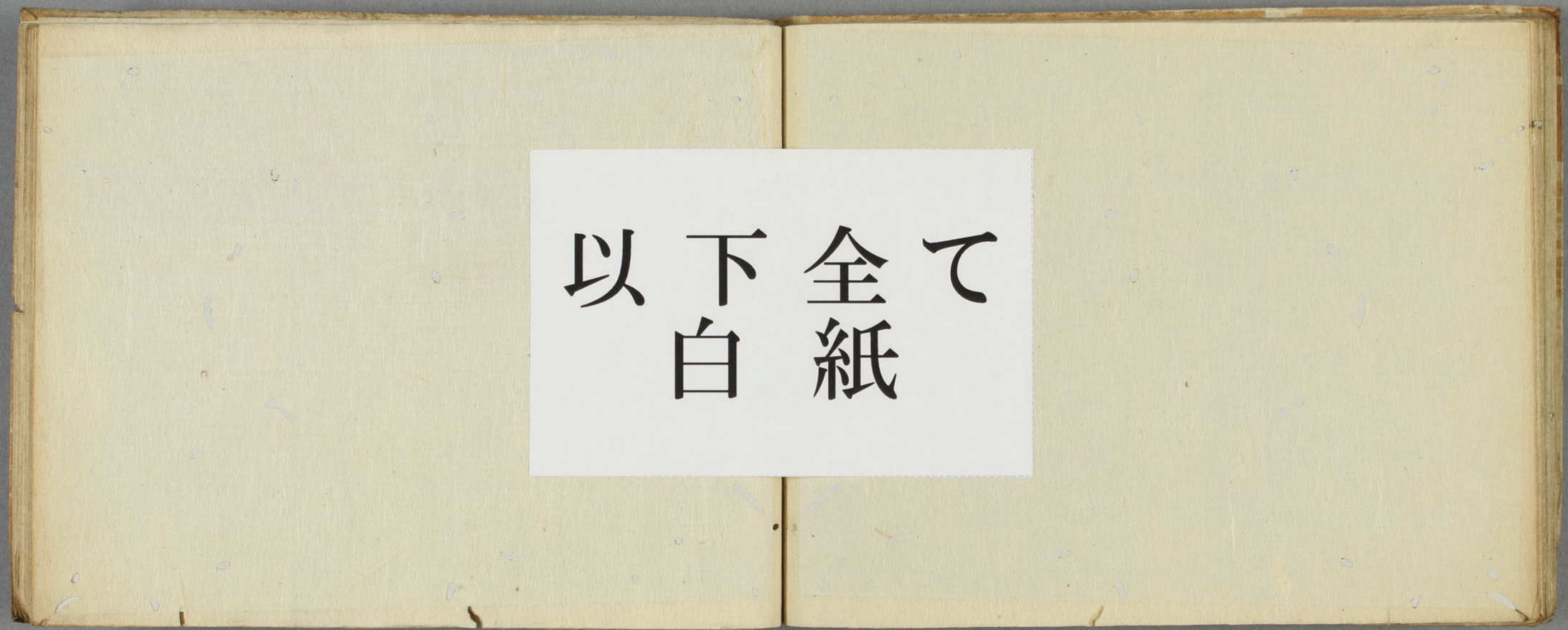
三[illegible]

夫天地開けはじまりし神の
[illegible]
[illegible]
国八隅の[illegible]
[illegible]

[illegible]

清水[illegible]

伊藤長衛



てすべて
全紙
下白
以